平成17年4月12日

各 位

会社名 株式会社TKC

代表者名 代表 取締役 社長飯塚 真玄 (コード番号9746 東証第1部) 問合せ先 取締役経営管理本部長岩田 仁 (TEL. 03-3235-5511)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年11月17日の決算発表時に公表した平成17年9月期 中間期(平成16年10月1日~平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1.平成17年9月期中間連結業績予想数値の修正(平成16年10月1日~平成17年3月31日) (単位:百万円、%)

						売 上 高	UL I	経常利益	监	中間純利益
前	回	発	表	予	想(A)	25,	300	2	2,190	1,200
今	回	修	正	予	想(B)	26,	357	2	2,915	1,564
増		減		額	(B-A)	1,	057		725	364
増	減 率(%)			4.2		33.1	30.4			
	(ご参考)前期実績 (平成16年3月中間期)				中間期)	24,	864	2	2,182	1,199

2.平成17年9月期中間単独業績予想数値の修正(平成16年10月1日~平成17年3月31日) (単位:百万円、%)

			売 上 高		経常利益		中間純利益			
前	回	発	表	予	想(A)	2	3,240		2,100	1,170
今	回	修	正	予	想(B)	2	4,353		2,814	1,515
増		減		額	(B-A)		1,113		714	345
増	減 率		率(%)		4.8		34.0	29.5		
	(ご参考)前期実績 (平成16年3月中間期)				2	2,786		2,092	1,168	

3.修正の理由

平成17年9月期中間期業績見通しを上方修正するに至った理由と通期業績見通しを期初の業績 見通しのままとする理由は次のとおりです。

(1)売上高の順調な推移と当下期予測売上の一部の前倒し

会計事務所事業部門

全般的に順調に推移しております。

地方公共団体事業部門

特に、市町村の合併に伴う「合併システム統合業務」に係る売上について、当下期に予測していた事項のうち、一部について前倒しの受注があったことによります。

印刷事業部門

期初の業績見通しのとおり推移しております。

(2)固定費の削減

平成16年11月17日に公表しました「当期(中間期を含む)業績予想」については、前頁に記載のとおり、利益面において、前期並みとなることを予想していました。その要因の一つとして、システム開発の資産計上に伴う償却費負担が、前期までと比較して当期から増加すると予測していたことが挙げられます。そのため、上記(1)のとおり売上高の確保を図ると共に、全ての固定費についてその削減を積極的に行ったことにより、経常利益の上方修正となりました。

なお、当中間期においては、固定費を削減しましたが、当下期におきましては、設備投資及び 研究開発投資等の積極的な投資を予定しています。

(3)「経常利益」を上方修正するにもかかわらず、「中間純利益」の伸び率が「経常利益」の伸び率 と比較して前回公表値比29.5%増(単独業績)に止まる理由について

当中間期においては、財務体質のより一層の強化を図るため、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用を行うことにいたしました。これに伴い、減損損失として特別損失に計上されることにより、中間純利益は公表値比29.5%増(単独業績)の伸び率に止まる見込みです。

なお、以上の理由により、中間期の業績予想を修正しますが、通期の業績予想につきましては、前回公表(平成16年11月17日)した数値は変更いたしません。

(ご参考 平成16年11月17日発表の通期連結業績予想数値及び通期単独業績予想数値)

(1)平成17年9月期連結通期業績予想数値(平成16年10月1日 ~ 平成17年9月30日) (単位:百万円、%)

			1 12 · 11/3/3/ /*/	
	売 上 高	経常利益	当期純利益	
平成17年9月期予想数値	53,100	5,770	3,150	
(ご参考) 前期実績(平成16年9月期)	52,070	5,752	3,110	

(2)平成17年9月期通期単独業績予想数値(平成16年10月1日 ~ 平成17年9月30日) (単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
平成17年9月期予想数値	48,940	5,590	3,100
(ご参考) 前期実績(平成16年9月期)	47,982	5,577	3,055

以上